

# 志村大宮病院・ 茨城北西総合リハビリテーションセンター

## 【施設基準】

- ・脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
- ・運動器リハビリテーション料Ⅰ
- ・呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
- ・廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ
- ・がん患者リハビリテーション料

## 【スタッフ数】2024年4月時点

PT：78名      公認心理師：3名  
OT：54名      アシスタント：5名  
ST：15名

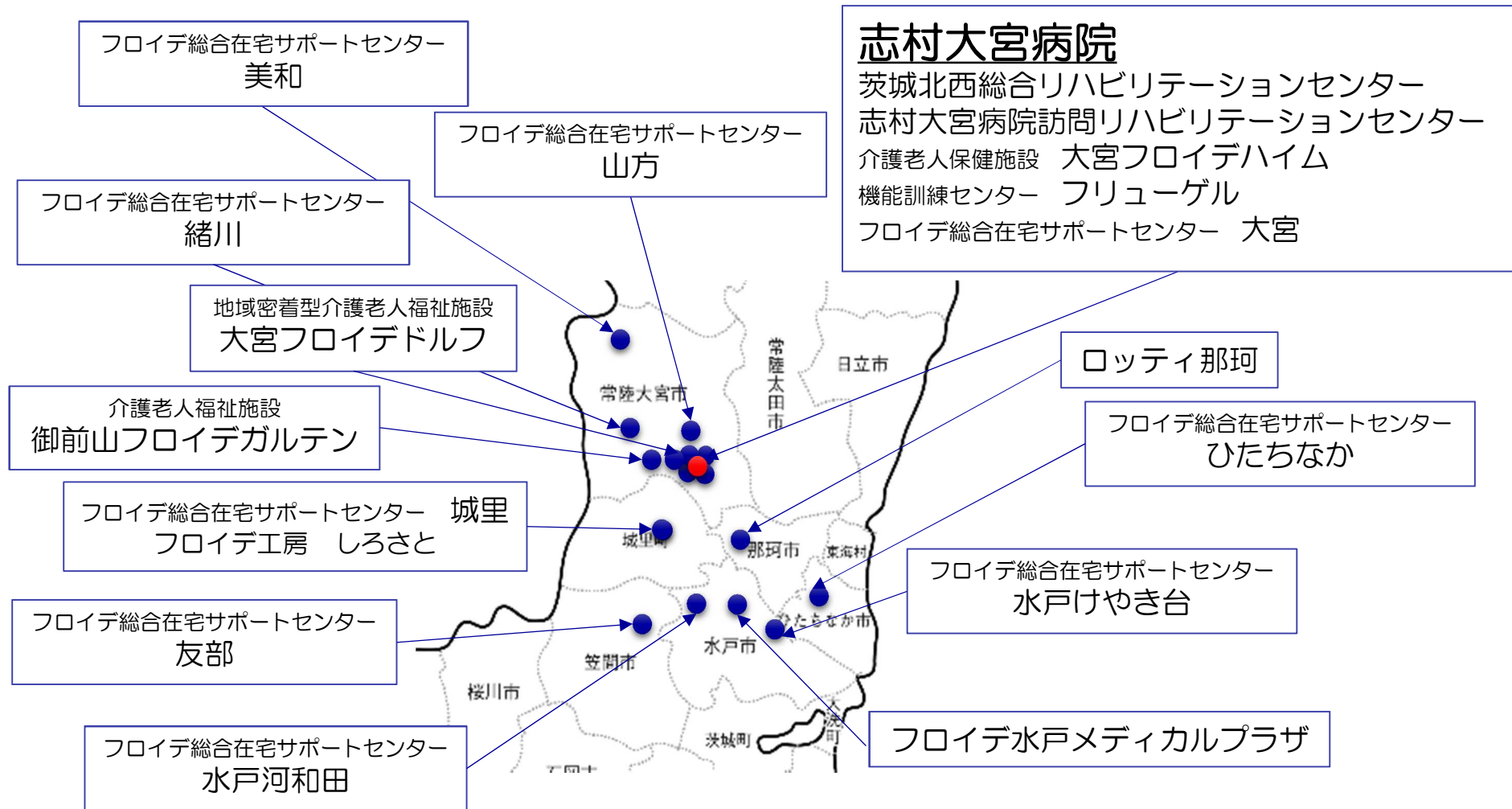


## 【茨城県地域リハビリ支援体制等】

- ・茨城県指定地域リハビリ研修支援センター
- ・茨城県指定地域リハビリ広域支援センター
- ・茨城県指定地域リハ・ステーション
- ・高次脳機能障害地域支援拠点病院

# リハビリテーション専門職の配置先

茨城県央・県北西部において、医療保険領域・介護保険領域・障害福祉領域の事業所に療法士を配置しています。



# リハビリテーション専門職が 携わる地域事業

## 高齢者

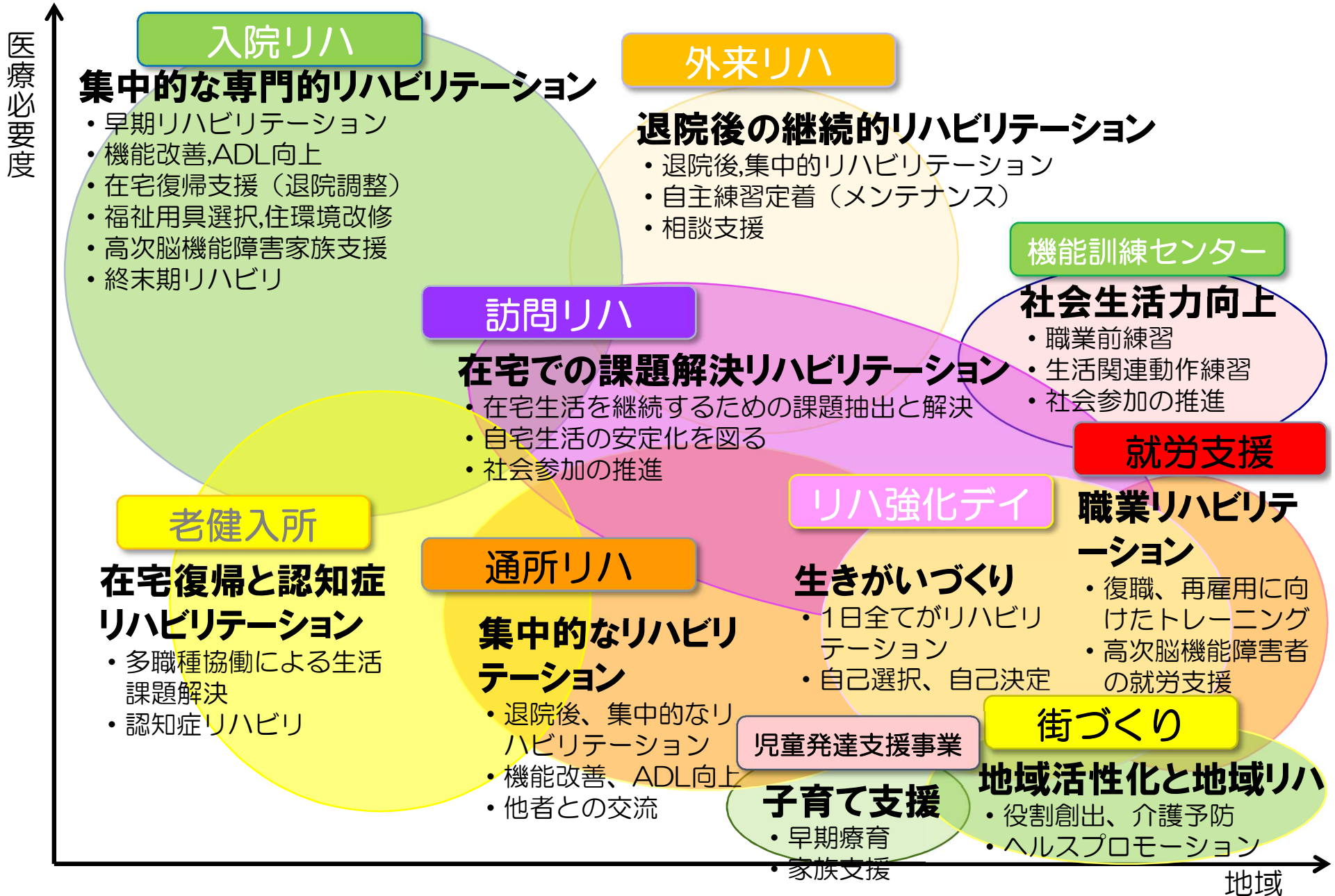
- 常陸大宮市一般介護予防事業
  - ・ あつまーれー教室
  - ・ げんきアップ教室
  - ・ スマイル教室
- ひたちなか市ときめき元気塾
- 笠間市通所型サービスC

## こども

- 常陸大宮市こどもセンター
- 那珂市発達相談「すまいる」
- ひたちなか市発達相談「あそぼっか」
- 大子特別支援学校巡回訪問

# キャリア形成支援について

# リハビリテーション事業部グランドデザイン 入院～地域生活までの支援や勉強ができる事業体制



# 各個人に合わせたキャリア形成をサポート

年1回の人員配置（興味関心）アンケートや、  
 普段の仕事ぶりを基に、配属先や役割などを提案していきます。

経験年数	配属先	その他
1年目	入院リハ	臨床研究
2年目	通所リハ	学会発表
3年目	訪問リハ	学会発表
4年目	訪問リハ	
5年目	訪問リハ	学会発表
6年目	入院リハ	介護予防
7年目	入院リハ	介護予防
8年目	外来リハ 児童発達支援事業	臨床実習、臨床研究、新人教育
9年目	入院リハ 外来リハ	臨床実習、臨床研究、新人教育

ローテーション・教育研究タイプ

経験年数	配属先	その他
1年目	入院リハ	
2年目	訪問リハ	
3年目	通所リハ	
4年目	老健入所	
5年目	通所リハ	リーダー
6年目	通所リハ	リーダー

ローテーション・管理職タイプ

経験年数	配属先	その他
1年目	入院リハ	
2年目	入院リハ 外来リハ	
3年目	入院リハ	外来小児リハ
4年目	入院リハ	外来小児リハ
5年目	入院リハ 児童発達支援事業	外来小児リハ、リーダー
6年目	入院リハ	主任

病院・スペシャリスト・管理職タイプ

経験年数	配属先	その他
1年目	入院リハ	
2年目	通所リハ	
3年目	リハ強化デイ	介護予防
4年目	リハ強化デイ	
5年目	リハ強化デイ 訪問リハ	学会発表

生活期タイプ

※ほんの一例です

# 理学療法部門

# 理学療法部門（病院）組織体制

※数字は経験年数

副部長(22)

主任(10)

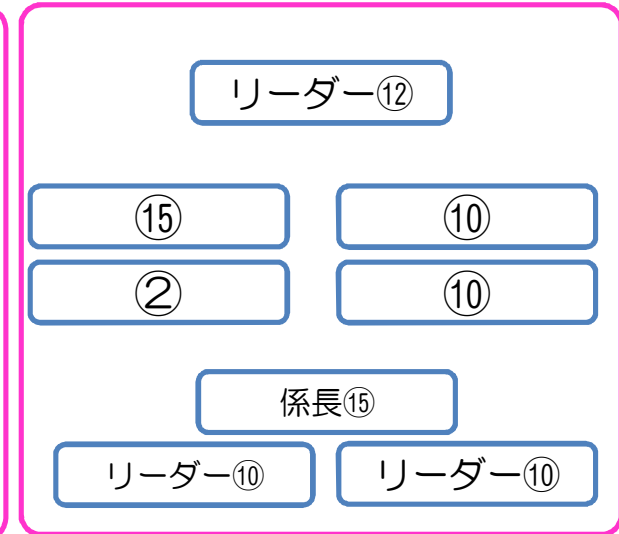
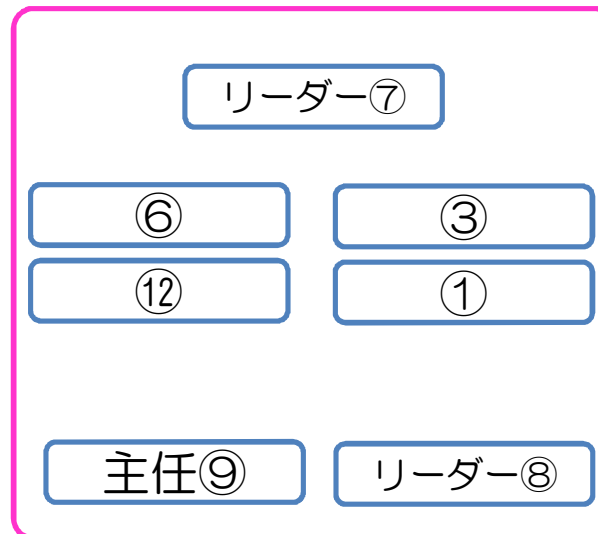
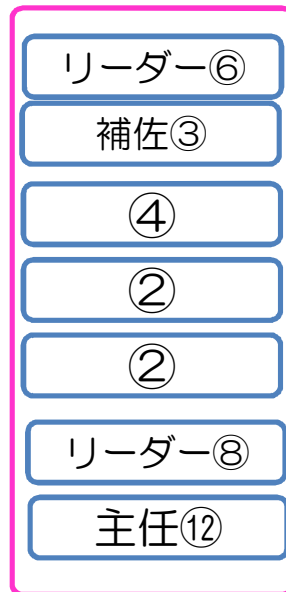
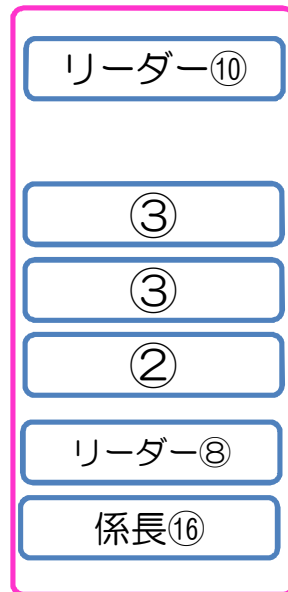
係長(21)

回復期病棟 2F

回復期病棟 3F

一般病棟 2F

一般病棟 3F



外来・緩和ケア・療養病棟

科長(19)

リーダー(10)

主任(9)

リーダーを中心として、デイリーカンファレンスなどで患者様ごとの理学療法に関する課題の解決を図っています。



# 理学療法的主要な対象

## ➤ 一般病棟

内部障害・運動器障害・廃用症候群を抱えた地域在住高齢者等に対する  
地域生活再開・継続支援

## ➤ 緩和ケア病棟

がん患者に対する支援

## ➤ 回復期リハ病棟

脳血管障害片麻痺者・下肢運動器障害者に対する歩行機能再建

脳血管障害片麻痺者・上肢運動障害者に対する上肢機能練習

脊髄損傷者に対する歩行機能再建や生活機能再構築

## ➤ 外来

病院退院後の心身機能強化、復職（継続）支援、生活機能向上

発達障がいされた方々のライフステージに合わせた支援

（先天性障がい・中途障がい児・者に対して幼少期（就学前～学童）だけでなく、青年期～壮年期～中年期）

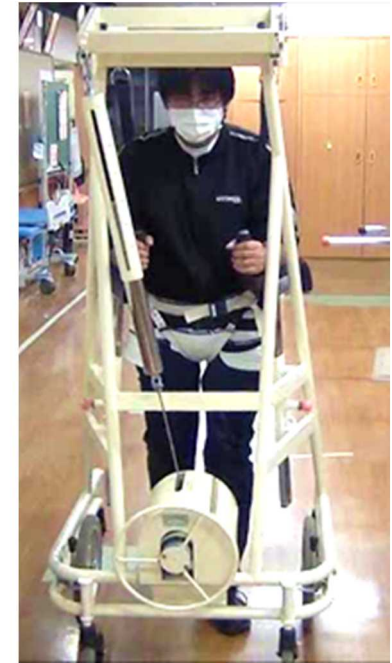
## 神経難病

障害者手帳取得前のフォロー

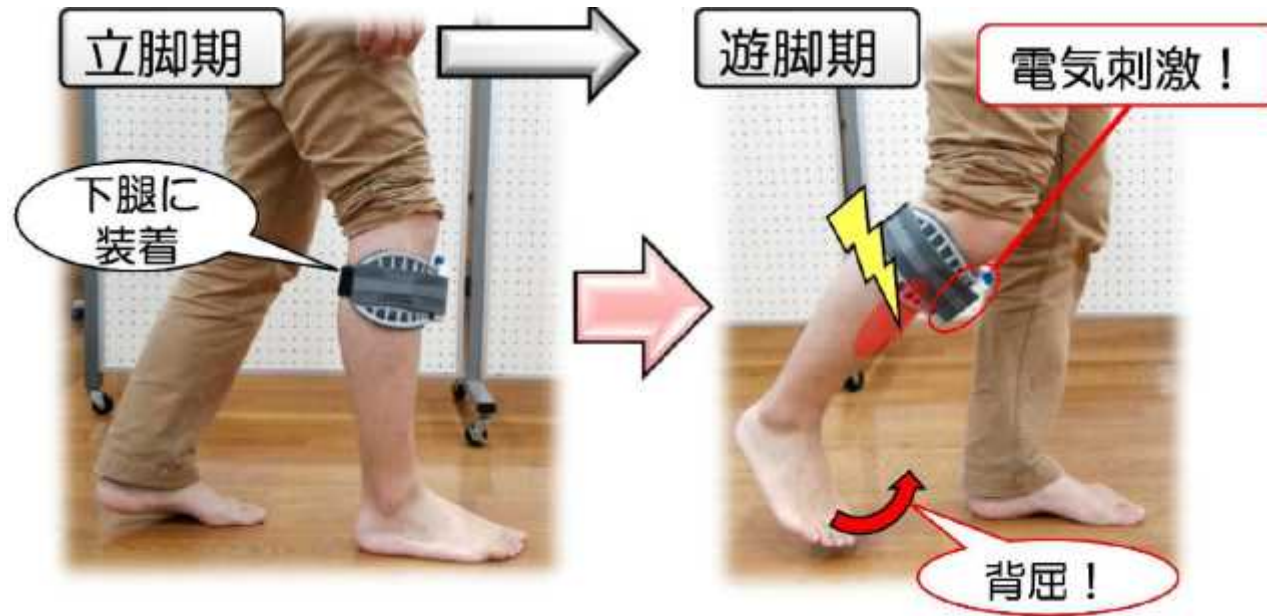
**理学療法関連機器等**

# 体重免荷トレッドミル 体重免荷歩行器

- 転倒を防止
- 過剰努力を抑制
- 繰り返し歩行パターンを入力し、神経-筋活動を賦活
- 当施設では歩行耐久性・歩行速度向上、保養改善効果を確認



# ウォークエイド



## 機能的電気刺激（FES）装置

当施設では下肢装具や歩行練習などの運動療法との併用によって、歩行機能再建の持続的効果が認められている

2020年度からは「運動量増加機器加算」が新設され、診療報酬を算定中

# ロボットスーツHAL (CYBERDYNE社製)

- 2010年度から運用を開始
- 2016年度からは脳卒中片麻痺の歩行障害に対する医療機器認証取得のための多施設臨床試験に参加
- 当施設では下肢タイプ・単関節タイプ（左右）を導入
- 年間40症例・400回程度理学療法で活用
- 脳血管障害に対して、分離運動出現、痙縮の改善、運動範囲の拡大、歩行指標の改善効果を確認





# 下肢装具



## 下肢装具備品（例）

KAFO=3対、GS-KAFO=2対、金属  
AFO=5対、SHB=10対、RAPS=1対、  
GSD=3対、既製品AFO=多数

などなど

- 対象者に最適な下肢装具を選択し、円滑に下肢装具が作製できるようにマニュアルを整備
- 患者・家族に対してはパンフレットを配布
- 理学療法責任者、対象者本人、医師、義肢装具士とともに装具診を行い、治療用下肢装具の作製や下肢装具の活用方法などを決定していく流れを整備

# 下肢装具を用いた運動療法



## K A F O 歩行練習

股関節伸展位・足関節背屈位での前足部荷重を促した交互型歩行  
歩行のリズムを賦活し、歩行時筋収縮パターンの誘発を狙う



## ステップ練習

制御したい関節運動をK A F O ・ A F O を用いて選択  
麻痺側立脚相の関節運動を模したステップ動作を反復させ、歩行運動に転移しやすい筋活動の再現を狙う

# シンクロウェイヴ (ミナト医科学製)

- 抹消関節への周期的な運動により、脊柱の弯曲運動の正常化を図る。
- 四肢の筋緊張の緩和により、筋出力の向上・疼痛の緩和を引き起こす運動機器
- 当施設では運動療法の前処置に活用し、腰部や体幹近位大関節の疼痛緩和、柔軟性改善、握力の改善効果を確認





# 新人教育システムについて

志村大宮病院・茨城北西総合リハビリテーションセンター

# 新卒入職者研修

## 研修方針

- ①対象の安心・安全を確保できるようにする。
- ②チームの方針を理解できるようにする。
- ③根拠と効果のあるリハビリテーションを提供できるように努められるようにする。
- ④法人経営に貢献できる働き方を身に付けることができるようにする。

# 新卒入職者研修

## 研修目標

- ①先輩に対して必要な相談・報告ができる。
- ②先輩の助言・指導の下（あるいは独力で）、対象へリハビリテーションを提供できる。
- ③対応に特段の配慮を要する対象・家族等を除き、独力で代理診療が行える。
- ④先輩の助言・指導の下（あるいは独力で）、記録等の間接業務を遂行できる。
- ⑤週ごとに設定された目標単位を取得できる。
- ⑥先輩の助言・指導の下（あるいは独力で）、担当する対象の治療計画立案・治療プログラム実施・治療計画の見直しを行える。

# 新卒入職者研修

## 研修方法

### On-the-Job Training

- ① 診療場面において、新人職員を療法補助者として立ち振る舞わせる。
- ② 先輩療法士が実践している療法プログラムを徐々に代行させられるよう助言・指導を行う
  - 必要な技術および技能の伝達は「見学→協同実施→（目は離しても手の届く範囲で）単独実施」の手順で行う
  - 新人職員が単独で診療代行を行う場を増加させていく。
  - 療法の実施水準が徐々に高くなるように指導していく。
  - 実施可能な治療プログラムの種類が増えるように指導していく。
  - 先輩が作成した代診票を基に代理診療が行えるようになることを目指して指導を行う。

# 新卒入職者研修

## 研修方法

### On-the-Job Training

- ③見学・実施した内容は、「新人教育チェックリスト」を用いて到達度を確認していく。
- ④新人職員および教育担当者が「新人職員が単独で代理診療ができる」と判断できるまで、数回の見学・実施を行う。
- ⑤習熟度に応じて、対象者（患者）を担当できるかどうか「対象者担当可否の基準」に基づいて判断していく。

志村大宮病院・茨城北西総合リハビリテーションセンター

# 新卒入職者研修

## 研修方法

### Off-the-Job Training

#### ①新人教育プログラム

- 当グループで働くうえでまず覚えてほしい事柄について、講義や実技指導を行う。
- 約60テーマ（病棟の概要、法人サービスの概要、他職種（リハ医、看護・介護、栄養、MSWなど）について、療法実施中の立ち振る舞い方、電子カルテの取り扱い方、リスク管理、移乗、ポジショニングなど）
- 一部業務時間、一部時間外（超過勤務該当）で実施。

志村大宮病院・茨城北西総合リハビリテーションセンター

# 新卒入職者研修

## 研修方法

### Off-the-Job Training

#### ②年間教育計画における各種勉強会

- 当グループで働き続けるうえでルーチンに学習すべき内容に関するおさらいや、新たなトピックスの伝達など
- 年間約15テーマ（ISO、個人情報保護、サービス改善、診療録の書き方、転倒・転落防止、感染予防、呼吸リハビリテーション、各専門職種勉強会など）
- 超過勤務として実施

# 部内症例発表

院内発表2回（9月・2月）

- 対象者（患者）の症状（動作・行為の障害）の一つに対して、その原因を分析していく過程を報告。
- 指導者の助言を受けながら、資料作成や発表方法について研鑽を積む。
- チェックシートをもとに発表能力を評価し、今後の教育に活用。



# 理学療法士の保有認定資格等

自己研鑽として学会・研修会へ参加したり、  
認定資格等を取得したりする場合の休日申請制度あり

➤ 修士（理学療法学）：1名

※大学院進学は原則として勤続5年以上が条件

➤ 認定理学療法士：11名

（7領域：脳卒中・循環・地域理学療法・補装具・物理療法・臨床教育・管理運営）

➤ 登録理学療法士：5名

➤ 臨床実習指導講習修了者：17名

➤ 介護支援専門員：10名

➤ 茨城県介護予防リハビリ専門職指導者：9名

➤ 茨城県地域リハビリテーションアドバイザー：8名

➤ 茨城県若手リハビリ専門職卒後研修修了：2名

➤ 脳卒中下肢装具アドバイザー：1名

など

# 学会発表

全国規模の学会発表者（筆頭演者）については、旅費（交通費・宿泊費）・学会参加費（懇親会費含む）を法人が全額負担

第23回・24回・25回茨城県理学療法士学会  
「学会長賞」受賞（3連続）

【2023年度学会発表実績】

- 茨城県理学療法士学会
- 茨城県総合リハビリテーションケア学会
- リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023
- 第4回学校保健・特別支援理学療法部会研究大会

# 地域への講師派遣 (通所リハから理学療法士を派遣)

## あつまーれー教室 (常陸大宮市委託事業)

目的：体操教室や栄養・口腔に関する講義を行いながら  
地域住民の通いの場を形成する

→住民を主体としたサロンへ移行する目論見  
(運営支援として在支が介入)

対象者：在宅介護支援センターと区長さんからの手上げ方式

期間・頻度：(前期)6月~9月、(後期)10月~12月

1地区で7回の教室開催(運動5回、栄養1回、口腔1回)



### 【内容】

- 運動機能評価(握力や片足立ちなど)
- 体操の実施と指導
- 口腔や栄養に関する講話(栄養士、歯科衛生士など派遣)
- 講話(血圧や転倒予防、ロコモについてなど)

ケアタウン水戸・地域共生多機能拠点  
健康作り・介護予防（水戸MP独自）

**5月**  
**元気シニア日曜日**

**フロイデメディカル  
フィットネスセンター水戸**

**参加費無料**

地域の健康を支える拠点として  
フロイデ水戸堀町が開催する  
健康増進イベント！

**日時**  
**R.6 5/19(日)**  
**10:00~11:30**

**場所：フロイデ水戸メディカルプラザ**  
**住所：水戸市堀町967-1**  
**TEL：029-353-8300**

対象  
水戸にお住まいのシニア  
ご自身で来場可能な方

持ち物  
・上履き  
※動きやすい服装でお越しください

**プログラム**  
元気アップ体操・筋トレ体操  
・お身体のお悩み相談

**お申込み・お問い合わせ**  
担当者：野崎・南後・松本





4月21日 11名  
5月19日 開催予定

栄養ケア・ステーション



健康・栄養に関するレシピや献立の  
考案

栄養に関する講話



個人の栄養相談



# 勝田高等学校野球部 運動指導 × 栄養支援

[日時]毎週水曜日16:00～

16:00～17:00 奉仕活動

17:00～19:00 トレーニング・食事準備

19:00～20:00 食事

- メディカルフィットネス・健康運動指導士による  
運動プログラム作成・評価・指導の実施
- 管理栄養士による食事メニューの  
アドバイスと部活マネージャーへの栄養指導





厚生労働大臣認定  
子育てサポート認定企業  
(くるみんマーク認定：平成27年6月23日)

- 病院内保育所(フロイデキンダーガルテン) の運営
  - ・ 24時間・休日・学童・病児保育対応型保育施設
- 女性の継続就業に関する支援
  - ・ 育児休業取得率100%      ・ 短時間勤務制度の導入
- ワークライフバランスを促進させる取り組み
  - ・ 1人あたりの残業時間の14.7%短縮
- くるみんマークの認定状況
  - ・ 全国2138の認定企業（医療機関は142機関）
  - ・ 茨城県では25企業（2番目の医療機関）
  - ・ 県北地域では初めての認定企業